

2005年7月25日

各 位

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
 代表取締役社長 増田 宗昭
 (コード番号：4756 東証1部)

2006年3月期 連結 業績修正及び増配のお知らせ

中間期連結業績 全ての項目で上方修正

中間当期純利益 27億円(前年比250%)

～ 年間配当金額を6円から12円に増配 ～

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(以下：CCC、本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：増田 宗昭)は、2006年3月期連結 中間期及び通期業績予想を以下の通り修正いたしました。

1. 2006年3月期 中間期連結業績予想の修正

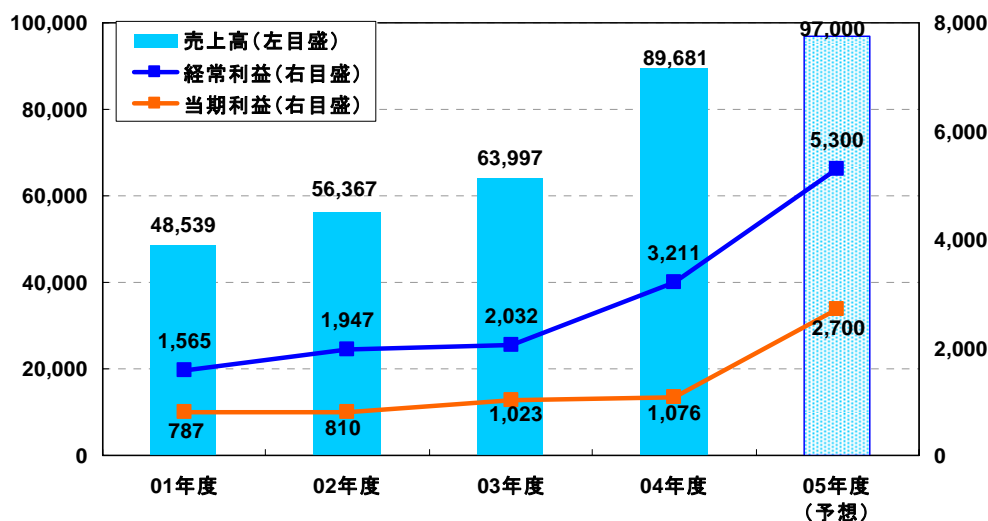
	2004年度	2005年度		増減額	予想比	2004年度 中間期比
	中間期実績	中間期予想 5/10発表	中間期予想 7/25発表			
売上高	89,681	95,000	97,000	2,000	102.1%	108.2%
経常利益	3,211	4,200	5,300	1,100	126.2%	165.1%
当期純利益	1,076	2,000	2,700	700	135.0%	250.9%

■中間期 連結業績全ての項目を上方修正

以下2点の理由により、2006年3月期 中間期連結業績予想を売上高970億円(従来予想比 2.1%増)、**経常利益53億円(従来予想比 26.2%増)**、**当期純利益27億円(従来予想比 35%増)**に上方修正いたしました。中でも当期純利益は前年比約2.5倍と大幅増益となる見込みとなりました。

- ① レンタル既存店売上高前年比好調の継続によるロイヤリティ、代行手数料、商物流子会社の売上高及び収益の増加、並びに、同様の理由による直営事業の売上高の増加による収益増。
- ② TSUTAYA online の会員数の増加(6月末時点721万人、前年同月比180万人増)に伴う売上高の増加に伴う収益増。

◆中間期業績推移グラフ（単位:百万円）



2. 2006年3月期 通期連結業績予想の修正

	2004年度	2005年度		増減額	予想比	2004年度実績比
	通期実績	通期予想 5/10発表	通期予想 7/27発表			
売上高	191,531	210,000	212,000	2,000	101.0%	110.7%
経常利益	7,775	11,000	12,100	1,100	110.0%	155.6%
当期純利益	▲ 3,900	5,000	5,700	700	114.0%	-

■通期 連結業績を上方修正

中間期業績の好調に伴い通期業績を売上高 2,120 億円（従来予想比 1.0%増）、経常利益 121 億円（従来予想比 10.0%増）、当期純利益 57 億円（従来予想比 14%増）に修正いたします。

3. 年間配当金額を1株あたり6円から12円に増配

この度の従来予想を大きく上回る業績推移に伴い、年間配当金を当初予定の1株当たり8円（中間期4円、期末4円）から**12円（中間期6円、期末6円）**に増配いたします。なお、年間12円の配当は、6年連続の増配であることに加え、昨年度配当額の年間6円（中間期3円、期末3円）を**倍増**させる水準となるものです。

本件に関するお問い合わせ：

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
常務取締役 谷田 昌広
TEL 03-5424-1381

報道関係のお問い合わせ先：

社長室 西田 宏
TEL 03-5424-1937

平成 17 年 7 月 25 日

各 位

会社名 カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
代表者 代表取締役社長 増田 宗昭
(コード番号：4756 東証第1部)
問合せ先 常務取締役 谷田 昌広
電話番号 03-5424-1381

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 5 月 10 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）連結業績予想及び単体業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1)平成 18 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）
(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 10 日発表)	95,000	4,200	2,000
今回修正予想 (B)	97,000	5,300	2,700
増減額 (B-A)	2,000	1,100	700
増減率 (%)	2.1	26.2	35.0
前期 (平成 17 年 3 月期) 中間実績	89,681	3,211	1,076

(2)平成 18 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）
(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 10 日発表)	210,000	11,000	5,000
今回修正予想 (B)	212,000	12,100	5,700
増減額 (B-A)	2,000	1,100	700
増減率 (%)	1.0	10.0	14.0
前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	191,531	7,775	△3,900

(3)理由

《中間期》

売上高増加の主な要因は、TSUTAYA におけるレンタルの既存店前年比の好調に伴う、ロイヤリティ収入、代行手数料、商物流子会社の売上増加及び直営店事業の売上増加、株式会社ヤオコムの会員増に伴う収益増によるものであります。

また、利益面につきましては、上記売上増に伴う利益増加及び IT 関連コストの削減効果により、経常利益 11 億円、当期純利益 7 億円の増加を見込んでおります。

《通期》

中間期における売上高、経常利益、当期純利益の上方修正に伴い、通期の各項目を同額上方修正しております。

2. 単体業績予想の修正

(1)平成 18 年 3 月期中間業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 10 日発表)	13,500	2,300	1,350
今回修正予想 (B)	15,800	2,550	1,600
増減額 (B-A)	2,300	250	250
増減率 (％)	17.0	10.9	18.5
前期 (平成 17 年 3 月期) 中間実績	15,583	2,353	1,630

(2)平成 18 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 5 月 10 日発表)	30,000	5,200	3,000
今回修正予想 (B)	32,300	5,200	3,000
増減額 (B-A)	2,300	0	0
増減率 (％)	7.7	0.0	0.0
前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	32,531	5,024	3,767

(3)理由

《中間期》

売上高増加の主な要因は、TSUTAYA におけるレンタルの既存店前年比の好調に伴うロイヤリティ収入、代行手数料の増加他によるものであります。

利益面については、上記売上増見込に伴う利益増加及び IT 関連コストの削減効果により、経常利益、当期純利益とも 2.5 億円増加となっております。

《通期》

売上高につきましては、中間期における売上高の上方修正に伴い同額上方修正しておりますが、経常利益及び当期純利益は、従来予想に変更ありません。

以上